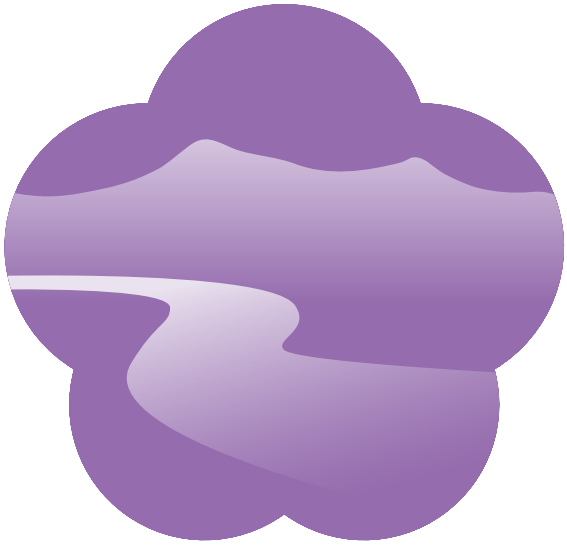
令和×万葉 高岡 シンボルマーク
マニュアル

2019年 8月制定



令和×万葉
TAKAOKA

越中の国守として赴任した大伴家持の心を動かした、二上山（ふたがみやま）と射水川（いみずがわ・現在の小矢部川）。家持が詠んだ歌とともに、今も高岡の四季を彩り、高岡の大地を潤しています。令和の出典となった梅の花に二上山と射水川を描き、いにしえより、そして令和の今も、感動を与え続ける高岡を表現しています。

紫は、大伴家持の最終官位「従三位」の衣の色。古代より、「高貴」な色とされてきました。また現代では、色彩心理学的に「高貴、優雅、感性」をイメージする色とされ、二上山や射水川などの自然に包まれて、「優雅で、感性豊かなまちたかおか」を表現する色として使用しています。

使用カラー

マーク

C45 M65 DIC 906
R155 G104 B169

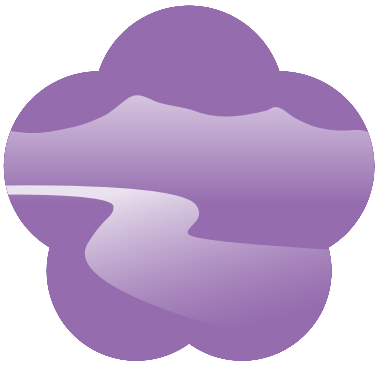
ロゴタイプ

BL100
R35 G24 B21

C50 M95 DIC 920
R155 G104 B169

マークとロゴタイプの組み合わせ

マークのみ



上記数値で求めたエリア内に、周辺の文字やオブジェクトが入ることを避けて配置してください。

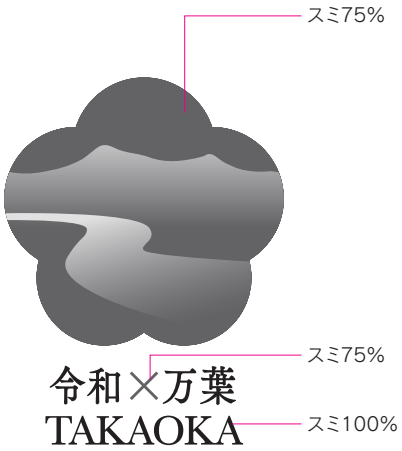
背景との識別が低い場合は、マーク周辺のアキを上記数値で求めた白マドを設けてください。

最小使用サイズ

マークとロゴタイプの組み合わせの場合は、14mm以下での使用はしないでください。
（マークのみの場合はその限りではありません）

マークとロゴタイプの組み合わせ

マークのみ

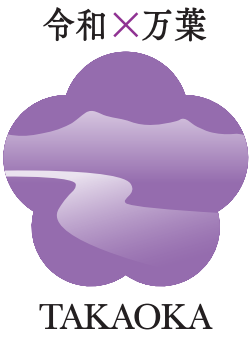


下記に示した使用例は、見る人に誤ったイメージを与えてしまうため、絶対に使わないでください。

［変形（長体・平体・斜体）しない］

［文字の間隔を変更しない］

［要素の組み替え・位置変更しない］



［規定以外の色使いをしない］

［ドロップシャドウをつけない］

［サイズ比率を変更しない］

画像（色アミ）の上に配置する場合

［背景との識別が低い使用はしない］

［白フチをつけない］

白マドをつける